

one cup tea maker

ワンカップティーメーカー

OTM-1

取扱説明書

1人用/200ml

HARIO



熱湯用

お買いあげ誠にありがとうございます。
正しくご使用していただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。
また、お読みになりましたら、大切に保管してください。

家庭用品品質表示法による表示

品 名 耐熱ガラス製器具

使 用 区 分 热湯用

耐熱温度差 120°C

取扱い上の注意

- 調理の時は外側の水滴をぬぐい、途中で差し水をする時は冷水をさけ、またガラスの部分が熱くなっている時はぬれた布でふれたり、ぬれた所に置かないで下さい。
- 空だきをしないで下さい。
- 洗う時は、研磨材入りたわし、金属たわしやクレンザーなどを使用しないで下さい。
- 使用区分以外には使用しないで下さい。

HARIO株式会社

〒103-0006

東京都中央区日本橋富沢町9-3

735150 OTM-1 1610

●お手入れの方法●

- △ 洗浄する場合は、やわらかいスポンジに中性洗剤を使用してください。
- △ やわらかいスポンジでも、下図のようにガラスに傷のつくスポンジやクレンザーは使用しないでください。思わぬときに破損する原因となります。

- 本製品は食器洗い乾燥機のご使用ができます。ご使用の際は、お手持ちの食器洗い乾燥機の取扱説明書をよくお読みください。
- 汚れのひどいときは「家庭用漂白剤」を薄めてご使用ください。その際「家庭用漂白剤」の取扱注意事項を必ずお守りください。漂白後は十分に水洗いしてください。
- プラスチック製ストレーナーは、「家庭用漂白剤」に長時間浸け置きしますとプラスチックの耐久性が低下しますので、短時間の使用としてください。



製品についてのお問い合わせ先

HARIO株式会社

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町9-3

フリーダイヤル: 0120-39-8208

<http://www.hario.com/>

●お取扱い上の注意●

- ⚠ ガラスは割れるものです。洗浄やご使用時はていねいにお取扱いください。
- ⚠ ストレーナーのメッシュ部分を外側から強く押さないでください。破損の原因となります。
- ⚠ お子様がご使用になる際は、取扱い上の注意をご指導の上、一人では扱わせないようにしてください。また、幼児のそばで使用したり、幼児の手の届く所に置かないでください。

- ご使用前には洗浄をしてください。
- ヒビ、欠け、強いスリ傷の入ったものは、思わぬときに破損することがありますので、使用しないでください。
- ガラス器の内面を、金属スプーンなどで強くたたいたり、強くこすったりしないでください。破損の原因になります。
- ガラス本体は熱くなりますので、持ち運びの際は、取っ手を持ってください。
- 破損した際のお取扱いは、ケガをしないよう十分ご注意ください。
- 廃棄する際は、各自治体の指示に従い分別してください。



●電子レンジでご使用の際の注意●

- ⚠ 電子レンジ加熱の際は、必ずフタ、ストレーナーを外してご使用ください。
- ⚠ 突然一気に沸騰して液体が激しく吹き出す恐れがあります(突沸現象)。電子レンジから取り出す際は顔などを近づけないでください。

- 突沸現象については、弊社ホームページwww.hario.comをご参照ください。
- 外側の水滴は拭き取ってから電子レンジに入れてください。
- 空だきや中身が少ない状態で使用しないでください。
- ご使用の際は、お手持ちの電子レンジの取扱説明書をよくお読みください。
- 電子レンジ加熱後は熱になりますので、持ち運びの際は、なべつかみなどを使って器全体や取っ手を持ってください。また、ビニール製のテーブルクロスなど、熱に弱いものの上には置かないでください。

●ご使用方法●

グラスにストレーナーをセットします。



① ②

ストレーナーの中へ茶葉を入れます。
1人分の茶葉の目安：ティースプーン
山盛り1杯（約3g）※お好みにより増
減してください。



③ ④



沸騰直後のお湯を注ぎ、フタをセット
します。

※フタつまみの向きがストレーナー
の長手方向と90度方向になるよう
にセットしてください。

フタを外して逆さに置き、使用したス
トレーナーをフタの上にのせます。出
来上がったお茶を冷めないうちにお
召し上がりください。

※フタは、グラス本体のフタとしても
ご使用いただけます。



●材質のご案内●



フ タ : ポリプロピレン
(耐熱温度120°C)

ストレーナー : ポリプロピレン
(茶こし) (耐熱温度120°C)

グ ラ ス : 耐熱ガラス
(耐熱温度差120°C)

●MADE IN JAPAN